

# 一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 6 月 3 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 4 番 高取 誠隆

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁  
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 1 )	高島市の財政運営と行財政改革の方向性について
発 言 事 項	
要 旨	(項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)
	<p>高島市では近年、経常収支比率の高止まりや実質単年度収支の赤字、さらに基金の取り崩しが続いており、財政構造の硬直化が進んでいます。</p> <p>このような状況を受けて、支出の最適化や業務の効率化といった行財政改革の必要性が繰り返し指摘され、本市としても一定の取組を進めてこられたものと承知しています。</p> <p>ただ一方で、行財政改革が「削減ありき」で進められすぎてしまうと、必要な人材の確保や市民サービスの質の維持、さらには地域経済の活力そのものが損なわれる懸念もあります。</p> <p>そうした中であって、本市にはなお、財政調整基金をはじめとする複数の基金に一定の残高があり、また将来負担比率も比較的低い水準に保たれていることから、他の自治体と比べても柔軟な財政運営が可能な土台を持ち合わせているといえます。</p> <p>このような現状を踏まえれば、今後の財政運営は「守る」だけでなく、地域の未来を支える『育てる』『生み出す』投資にも果敢に取り組むべき局面にあると考え</p>

ます。適切な構造改革と財政判断次第で、立て直しは十分可能であるというのが私の認識です。

本定例会に上程されました政策予算には、将来を見据えた施策が多数盛り込まれていると理解していますが、それらが中長期的に自治体の活力や歳入拡大につながるのか、その道筋や成果の検証方法については、市民にまだ十分に共有されていないようにも感じます。

私たち若い世代は、いま下される財政判断の延長線上にある未来を生きる当事者です。だからこそ、市長がどのような将来像を描き、どのような財政方針でその実現を図ろうとされているのか、その方向性を丁寧に伺いたいと考えております。

1. 高島市の財政状況を踏まえ、「支出削減」と「将来投資」のバランスをどう考えているか。
2. これまでの行財政改革をどのように評価し、どのように継承・見直そうとしているか。